令和7年度 第1回 図書館協議会 会議録

1 日時

令和7年7月3日（木）午後2時45分～午後4時00分

2 場所

ラトブ4階 いわき総合図書館学習室

3 出席者

(1) 委員

委員長 小野 順一

副委員長 柳田 明美

委員 成田 美紀、塩 陽子、草野 祐香利、関場 早希子、有賀 史人、
森高 サヨ子、熊谷 ひとみ

（欠席者）柴田 達八

(2) 事務局

ア いわき総合図書館

藁谷館長、秋山副館長、園部副館長、片寄主任主査、松本主任主査
桑原総務管理係長、横田情報資料係長

イ 地区図書館

小名浜図書館長、勿来図書館長、常磐図書館長、内郷図書館長
（欠席者）四倉図書館長

4 委員長、副委員長の選出

5 議事

(1) 案件

ア 令和6年度図書館運営実績等について

（ア）実績統計

（イ）事業実施報告

イ 令和7年度図書館運営方針等について

（ア）運営方針、重点事業及び主要事業

（イ）事業計画

（ウ）移動図書館運行計画

— 会議内容 （司会進行：園部副館長） —

1 開会

(委員 10 名 9 名が出席しており、いわき市立図書館協議会規則第 4 条第 1 項の規定による半数以上の出席があり、会議が成立した。)

2 いわき総合図書館長あいさつ 館長

3 委員、職員紹介

4 図書館協議会の概要

事務局より、会議資料 2～3 頁に基づき説明した。(総務管理係長)

5 委員長、副委員長の選出

いわき市立図書館協議会規則第 2 条第 2 項の規定による委員の互選により、委員長に小野順一委員、副委員長に柳田明美委員が選出された。

6 議事

いわき市立図書館協議会規則第 2 条第 3 項の規定により、小野委員長が議長となり、会議を進行した。

(1) 案件

ア 令和 6 年度図書館運営実績等について

(ア) 実績統計

事務局より、会議資料 5～11 頁に基づき説明した。(総務管理係長)

(イ) 事業実施報告

事務局より、会議資料 12～20 頁に基づき説明した。(情報資料係長)

(意見、質疑応答)

熊谷委員：学校における読み聞かせの実施状況が分かれば教えてほしい。

事務局：学校での読み聞かせの実施状況については把握していないが、地域のボランティア団体や保護者などが読み聞かせを行っているということは聞いている。

草野委員：団体登録について、登録団体数自体が減少しているのか。

事務局：例えば学校ではクラスごとに団体登録をしているが、近年では学校の

統廃合があったり、クラス数の減少が顕著になっている。

草野委員：団体登録の内訳のうち児童については学校が多いのか？

事務局：学校や幼稚園、保育所などが多い。

イ 令和7年度図書館運営方針等について

(ア) 運営方針、重点事業及び主要事業

事務局より、会議資料 21～24 頁に基づき説明した。(秋山副館長)

(イ) 事業計画

事務局より、会議資料 25～30 頁に基づき説明した。(情報資料係長)

(ウ) 移動図書館運行計画

事務局より、会議資料 31～32 頁に基づき説明した。(松本主任主査)

(意見、質疑応答)

熊谷委員：図書館支援ボランティアの活動内容について知りたい。

事務局：読み聞かせや館内巡回、リサイクル図書の整理などの図書館事業の補助、録音図書製作や対面朗読などの障がい者サービス支援を行っている。活動にあたっては、図書館でボランティア登録をして頂き、それぞれ希望の活動に従事して頂いている。

小野委員長：チャレンジホームへの読書支援の拡充とあるが、これまでの利用状況や利用者の感想などが分かれば教えてほしい。

事務局：利用者の年齢や読書傾向などを考慮した図書を提供している。担当者からは、チャレンジホームに本があるのが当たり前という環境が出来ることから、図書の貸出しを継続してほしいという要望があった。

関場委員：電子図書館の利用状況について教えてほしい。

事務局：令和6年度の実績として、貸出点数は 12,107 点となっている。閲覧点数は 30,543 点で、主な内訳として、試し読みが 27,115 件、児童用読み放題パックが 2,897 点となっている。

関場委員：利用実績は増加傾向にあるのか？

事務局：有期限・回数制限型コンテンツ数の減に伴い、貸出点数も減少している。利用促進のためにもコンテンツの充実を図りたい。

草 野 委 員：図書館内で児童生徒が学習する場所はあるか。また、不登校の児童生徒の増加に伴いフリースクールも増えている。フリースクールとの連携等はあるのか。

事 務 局：総合図書館内で学習可能な場所としては、学校支援ルーム、学習室のほか、4・5階の閲覧席も学習可能としている。また、現時点ではフリースクールとの連携等を行っていない。

※ 委員長より、せっかくの機会であることから、各委員から意見を伺いたい旨の発言があった。

成 田 委 員：「高校図書委員おすすめ本」の展示について、紹介本が貸出中になっているようだが、どんな年代の利用者が借りているのか。貸出傾向が分かれば教えてほしい。

事 務 局：総合図書館では、ティーンズコーナーを設けて中高生の利用促進を図っているところだが、実際は一般利用者の利用も多い。「高校図書委員おすすめ本」の展示については利用統計をとっていないが、同世代の高校生が本を手にとったり、小学校の見学等で案内するなど、幅広い世代に見てもらっている。

塩 委 員：市立図書館でこれほど多くの事業を行っていることに、いつも驚いている。

ところで、私が所属するいわき市社会教育委員の会議でも関わりがある、いわきヒューマンカレッジ（市民大学）名誉学長の童門冬二先生が昨年お亡くなりになった。同氏の追悼展示を行ってみてはいかがか。

事 務 局：今後、市生涯学習プラザと連携する機会があれば協力したい。

塩 委 員：市生涯学習プラザでは追悼企画の予定があるようだ。

事 務 局：承知した。

草 野 委 員：子どもの成長や親子のコミュニケーションに、絵本や読み聞かせは欠かせないものだと思うので、一緒に活動できればと思う。

関 場 委 員：電子書籍や大活字本などにより読書寿命が延びたと感じている。電子図書館については利用者の増減や予算の問題などもあるかと思うが、ぜひ

取組みを続けてほしい。

また、学校支援ルームでの学習支援については、誰でも利用できる図書館の機能を最大限に活用した取組みだと感じた。

有賀委員：企画展「古代と中世の四倉」の会期が延長になったとのことだが、会期延長というのはよくあることなのか。

事務局：予想以上の反響と、「いわき七浜イケメンプロジェクト」とのコラボなどもあり、より多くの市民に見て頂く機会を設けたいとの趣旨から延長した。

有賀委員：今後、四倉地区以外も開催するのか。

事務局：過去には常磐地区を取り上げたこともあり、市民の地域の歴史や文化などへの関心が高いことは認識している。

森高委員：音訳ボランティアをしており、録音図書の製作などに携わっている。
市立図書館では除籍資料をリサイクル図書として市民配布をしているが、私も活用しており大変ありがたい。このサービスを知らない人も多いと思うので、もっと周知するとよいのではないかな。

熊谷委員：総合図書館の自動出納書庫の活用状況について教えてほしい。

事務局：65万冊収蔵可能で、現在約30万冊を収蔵している。図書館情報システムと連動して、利用者が求める資料を迅速かつ的確に提供することが可能となっている。

柳田副委員長：幼稚園や保育所、小学校などで読み聞かせ活動をしており、よく図書館を利用している。どの図書館のスタッフも親切なので、探している本があれば聞いてみるとよい。

また以前、リサイクル図書で紙芝居をもらったことがあり、今でも読み聞かせで活用している。大変感謝している。

小野委員長：今年は大阪関西万博が開催され、夏休み中に出掛ける子ども達も多いのではないかな。万博に関する本の他に、大阪や関西に関する本など関連図書の展示を行ってみるのも面白いのではないかな。

委員の皆さまには貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。
ここで議長の職を解かせていただきたいと思います。

7 その他

事務局より、次回の開催予定（11月）について事務連絡を行った。

8 閉会